

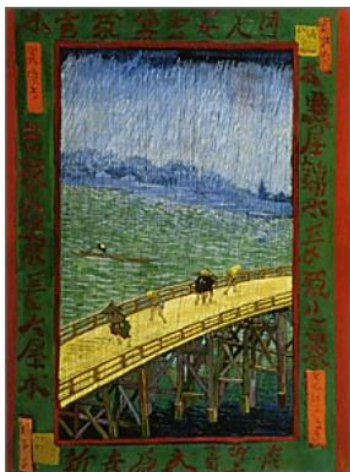
# 「教育活動」と「感染防止対策」の両立で咲く「友愛・挑戦・感動」の花

長泉町立北中学校長 野口 基

今年度の中体連では、本校部活動の「8種目の団体」と「12種目の個人」が県大会へ出場しました。中でもソフトボール部の活躍は目を見張るものがありました。まずは県大会と東海大会の優勝です。地区大会から東海大会までの11試合 109得点、失点1点と攻守に渡って見事な成績です。その勢いで、全国大会も3位という輝かしい結果を残しました。コロナ禍の下、「練習」と「感染防止対策」の両立をしながらどんな困難にも負けず、互いに仲間を信じ合



い、目標に向かって挑み、それを達成した先には「友愛・挑戦・感動の花」が咲いていました。勝敗以上に私が感心したのは、選手たちの「笑顔で感謝を主体的に伝える姿勢」です。「大会関係者へ笑顔で感謝のあいさつ」、「試合後のグラウンド整備」、「会場施設の掃除」、「保護者等への感謝の言葉」等、指示されることなく、全員が主体的に行っていました。この全国大会を最後に、すべての部活動で3年生が引退となります。今後の1・2年生の活躍も大いに期待しています。



さて、8月30日より学校が再開し、リモート集会の校長講話では、ゴッホの作品を紹介しました。それは、安藤広重の浮世絵『大橋あたけの夕立ち』を模写したものです。ゴッホは日本の浮世絵に憧れ、浮世絵の画風を自分のものにしようと目標を立て、模写を何枚も描いています。これはその1枚です。描かれている場所は、隅田川に架けられている「新大橋」です。東京2020オリンピック・パラリンピック会場の近辺の昔の様子となります。橋の上をよく見ると、雨に濡れないよう**身を守る**人が描かれています。

今後の教育活動では、今まで以上にコロナ禍から**身を守る**予防対策を図り、「クラスター」や「濃厚接触者」の発生を防止していく必要があります。特に「マスクを外す場面（食事等）では絶対しゃべらない。」こと等を徹底し、「教育活動」と「感染防止対策」を両立していきます。御家庭におかれましても、体調不良の際は無理に登校させず、医療と繋ぐ等早めの対応をお願いします。

コロナ禍の下、行事の中止変更等、様々な困難に直面するかもしれません。しかし、教職員・保護者・地域が一丸となり、生徒の「友愛・挑戦・感動」の花を見ることができるよう、教育活動を支援していきたいと考えます。保護者・地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。